

科目名	言語芸術論			科目コード	1303
開講学科	文芸学科	単位数	4	形態	講義
教員名	阪井敏夫				
授業の目的及びテーマ					
言語芸術としての文芸の基礎的視点と問題のありかを学び、その各ジャンルに習熟していく。					
授業概要					
ここでいう「言語芸術」とは、主として詩歌、物語、小説、戯曲などを創作すること、またその所産である作品を鑑賞、解釈、批評する営みからなる全体を指している。文学、文芸、広い意味の詩ともいわれる事象であるが、特に、言葉を媒体（素材）としての〈創作・作品・鑑賞〉を軸にして捉えるという観点に立ち授業をすすめて行く。創作は作品を書くこと、鑑賞は作品を読むことによって成り立っている。「文章論」のテキストを共用する理由である。「文章論」の学習指導書をも熟読するようにお願いする。					
授業計画					
第 1 回：はじめに、言語芸術について 第 2 回：同上 第 3 回：芸術について、美的対象・生の体験と表現・鑑賞 第 4 回：同上 第 5 回：文章とは何か（テキスト第一章） 第 6 回：同上 第 7 回：文章の魅力（テキスト第二章） 第 8 回：詩作品の魅力 第 9 回：小説作品の魅力 第 10 回：評論作品の魅力 第 11 回：創作・作品・鑑賞（テキスト第三章） 第 12 回：同上 第 13 回：言語と文章表現（テキスト第四章） 第 14 回：同上 第 15 回：〃					
テキスト	（山崎茉莉、葉山郁生 共編）文章論		参考文献		
評価方法：					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					